

第 15 号
昭和 46 年 7 月

会

報

発行 北海道高等学校
教育研究会 事務所

札幌市伏見町 1872 の 4
札幌旭丘高等学校内
電話 561-1221 番

ご あ い さ つ

万緑の候、会員各位にはいよいよご健勝で高校教育に励まれていることと存じ、心からお喜び申し上げます。

さて、先般わが国今後の学制改革の基本につき、中央教育審議会より最終答申がありましたように、今日わが国は第 3 の教育改革の機運にあり、その中でも中学校、高等学校をふくめた中等教育が改革の大きな柱となつております。ゆらい教育の問題は、「人」と「物」との相関において考察されなければなりません、その根本は、何といたしても「教育に人を得ること」であると思います。このためには、教育会に人材を招致するための教育の待遇、教員を志す者の教員の養成、そして既にその職に在る者の現職教育等の教育行政上の施策についての抜本的な改革が必要であることは申すまでもありません。しかしながらこれと同時に、教師自らが教育者としての自覚と使命に徹し、教育愛に燃えて絶えず教育者たるにふさわしい研修に努めて、生徒・父兄の信頼を得るにあらざれば、いかなる改革もこれは画餅に帰するものと思います。

本高等学校教育研究会は、本道高等学校教員の総意をもつた自主的な研究団体として年々着実な発展をとげ、本年度は第 9 回研究大会を、昭和 47 年 1 月 7 日（金）、8 日（土）の両日、札幌市の厚生年金会館その他で開催されることになりました。そして、このためには新鋭の役員の方々の手で、新たな企画、新たな会費で運営することにいたしました。願わくば会員各位におかれては、各教科、各地区、各学校において本研究会の共通テーマ「高等学校教育と学習指導の現代化」についての実践的な研究を行ない、この成果を札幌大会に積み上げて下さるようお願いいたします。第 9 回大会の盛会を期待いたしましてごあいさつといたします。

会長 磯 貝 芳 司

いよいよ本会も会員数5000名を超える大規模な研究会に成長し、明年度は10周年を迎えることになりました。これは一重に会員諸先生方の御努力と御協力、御支援のおかげと深く感謝しております。

間近かに迫った新教育課程への移行、さらに第三の教育制度の改革として打ちだされた中教審の構造等、われわれの当面する教育の問題は今日ほど重大なものはありません。

このような情勢のなかで本会によせられる内外の期待は益々大きく、今後は一層その内容の充実につとめ、積極的に研究活動を推進してゆかなければならないものと思います。

このようなとき、本部事務局としましても後述のように組織を整備、充実して本会の発展のため全力をつくしてつとめておりますので御協力の程お願い申し上げます。

つぎに先日第1回役員会で決定されました本年度の事業等について、その概要を御報告申し上げます。

このうち特別なことはつぎの3点です。

1. 役員任期(2年)を本年度だけ暫定的に1年とし、校長会における諸行事(高体連等)の任期と一致するようにしました。
2. 数年来懸案となつていました会費の値上げ(50円)とすることになりました。
3. せまくて御不自由をかけておりました1月の研究大会の会場は新装の厚生年金会館ときました。

〔昭和46年度第1回役員会〕

(日時) 昭和46年6月5日(土)

自午後1時30分

(場所) 札幌市北4条西6丁目

自治会館4階"桐の間"

1 経過報告(45.4.1~46.3.31)

- 4.5. 4.10 昭和44年度事業実施報告
- 4.15 人事異動に伴う役員の補改選について依頼
5. 7 会員加入登録依頼、会員加入登録

名簿発送

6. 2 第1回役員会案内
- 6.10 本部事務局会議、第1回役員会議案書・年間行事予定表等作成
- 6.13 第1回役員会開催(昭和44年度経過報告、事業実施報告、収支決算報告、昭和45年度役員・事務局・事業計画・予算案審議)
- 7.10 会報第13号発行(昭和45年度研究テーマ、紀要論文、研究調査応募規定、その他)
- 7.15 会員名簿提出
- 8.25 第2回役員会開催案内
9. 8 会員登録者数中間集計(5,193名)
本部事務局会議 第2回役員会議案書作成
- 9.12 第2回役員会開催(経過報告、昭和45年度事業計画、第8回大会運営について、会場、講師、その他)
- 9.21 地区支部、教科部会事務担当者会出席派遣について(依頼)
10. 3 地区支部、教科部会事務担当者会議(第8回運営について、研究発表、研究紀要、会場、講師、その他)
11. 9 研究紀要論文締切、掲載論文30編
- 11.14 第8回研究大会開催案内、大会要項発送、第8回大会参加申込受付開始
- 11.20 講師・役員委嘱状、後援依頼状、公報掲載依頼状発送
- 11.26 第8回研究大会運営会議開催案内
12. 2 本部事務局会議、第8回研究大会運営会議議案書作成
12. 4 北海道教育委員会公報に第8回研究大会要項掲載される
12. 5 第8回研究大会運営会議(受付方法、全体集会次第、司会・会教科部会関係、その他運営内容細部打合せ)

- 1 2. 9 第8回研究大会資料編集完了、印刷発注
- 1 2.1 5 『道教委だより』に第8回研究大会開催案内掲載される
- 1 2.1 6 第8回研究大会開会祝辞依頼(道教委、札幌市教委、高校長協会)
- 1 2.1 9 第8回研究大会参加申込締切、参加者数の中間集計、参加者名簿作成
- 4 6. 1. 8 第8回研究大会第1日目 全体集会
- 1. 9 第8回研究大会第2日目 教科特別集会
- 1.1 1 関係方面に第8回研究大会に関する礼状発送
- 1.2 5 『道教委だより』に第8回研究大会の成果について掲載される
- 2. 1 第3回役員会開催案内
- 2. 8 本部事務局会議 第3回役員会議案書作成
- 2.1 0 第3回役員会
- 3.1 0 昭和45年度事業実施報告書、昭和46年度事業計画書提出
- 3.1 5 昭和46年度役員改選依頼
- 3.2 0 研究紀要第8号、会報第14号発行(第8回研究大会成果報告)

2 昭和45年度収支決算報告
(会計監査報告)

3 昭和46年度役員改選
(別紙役員一覧表参照)

4 昭和46年度事業計画

(1) 第9回北海道高等学校教育研究大会の開催

① 全体集会

- 期日—昭和47年1月7日(金)
- 場所—厚生年金会館
(札幌市北1条西12丁目)
- 日程

8:30	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00
受付	開会式	講演	昼食・休憩	講演	

- 運営—本部担当

② 教科別集会

- 期日—昭和47年1月8日(土)
- 場所

国語部会(拓銀ホール) 社会部会(札幌南高校) 数学部会(北陸銀行ホール) 理科部会(未定) 芸術部会(市民会館会議室) 保体部会(旭丘高校) 英語部会(旭丘高校) 家庭部会(札幌西高校) 農業部会(道庁赤レンガ会議室) 工業部会(理美容センター) 商業部会(小樽商業高校) 水産部会(小樽水産高校)

- 日程—全体集会と同じ
- 運営—各教科部会担当

③ 研究テーマ

- 全体

「高等学校教育と学習指導の現代化について」

- 部会

国語—古典と現代国語の間 社会—社会科教育の現代化とその方向 —学習を深めるためのねらいと内容およびその方法— 数学—数学教育の現代化 理科—これからの理科教育はどうあるべきか。 保体—保健体育指導上の諸問題とその研究 —新指導要領実施に伴う諸問題を中心に— 芸術—創造性の開発を旨とする芸術教育 英語—英語教育の授業改善をどのようにしたらよいか —新教育課程に關聯して— 家庭—これからの衣生活経営指導について 農業—多様化する生徒の能力に即した農業学指導法について 工業—工業教育における教育課程の近代化 商業—新しい商業教育実現のための教育課程編成上の具体的問題点について 水産—水産教育の現代化 —教育課程と学習指法—
--

④ 講師

- 全体集会

原則として中央から2名。その内訳としては人文科学部門1名。自然科学部門1名とする。なお、希望講師(および希望演題)があれば本部へ申し出られたい。

- 教科別集会

部会ごとに決定されたい。

⑤ 大会参加料

会 員	-	3 0 0 円	右の参加料を徴収する。
非会員	-	1 0 0 0 円	

⑥ 受付方法

△参加申込書に必要事項を記入の上参加料をそえて所属長経由12月4日(土)までに本部事務局へ申し込むこと。

△参加証は所属長を通じて本人に届くようにする。

△大会当日参加証持参のものに限り教科ごとの受付で資料を受け取り入場する。

△当日参加するものは会場に余裕がある限り受け付けるよう配慮したい。

(ロ) 研究紀要第9号の発刊

- 規 格—B5版 250頁～300頁程度
- 発刊予定—昭和47年3月10日(金)
- 原稿締切—昭和46年11月8日(月)(厳守)
- 原稿内訳

◎<教科>は—1教科につき400字詰原稿用紙(本部規定)70枚以内。原稿の集約、審査等は各教科部内で行なう。(申込先:各教科事務局)

◎<教職一般>は—1編につき400字詰原稿用紙(本部規定)30枚以内。原稿の集約、審査等は地区支部長及び本部役員で行なう。(申込先:各支部事務局)

◎<研究調査>は—紀要に調査報告を掲載する。

◎<紀要抜刷50部>は—執筆者分を本部で一括注文とする。なお、50部以上希望の方は各個人において印刷業者と連絡を取って直接申し込みのこと。

◎<論文発表者>が—決まり次第、本部より地区支部及び教科部長を通じて必要枚数の原稿用紙をお送りする。

(備考)

- 紀要は全一冊として発刊する。
- 縮切日は厳守し、以後の分は認めないことと

する。

• 原稿は必ず教科部会長を経由して本部へ提出すること。なお、原稿の厳選をお願いしたい。原稿を本部へ直送されることは絶対ないようお願いします。

• 紀要論文募集要項はこの「会報」15号と同時に「道教委だより」にも掲載するので参照されたい。

(原稿についてのお願い)

◎1枚目の原稿用紙の1行目には『題目』を2行目には『勤務先・執筆者氏名』を記す。

たて書原稿の場合もこれに準じて使用のこと。

◎文中、ゴジツクを要するところは——(朱書)、イタリックの場合は~~~~(朱書)のように下線を引く。
イタ

◎図は、白紙又は青色紙に墨又は黒インクで鮮明に書き、直ちに凸版にできるようにする。

◎図、写真は別紙に書き、余白に番号と氏名を書く。写真版が多くなるときは予算の関係上本部編集部担当者にご連絡下さい。

◎図、写真の入るところは原稿中にはつきり指定すること。

◎原稿は整理の都合上、原則としてお返しすることができません。

(ハ) 会報15号、16号の発行

- 回数—一年2回(7月…3月)
- 内容

<第15号>

- 全体研究テーマ
- 教科部会研究テーマ
- 研究紀要要項
- 研究調査要項
- 事務局(本部、地区支部、教科部会)一覧
- 役員名簿一覧
- 昭和46年度事業計画、同予算
- 第9回研究大会について

<第16号>

- 第9回研究大会成果報告

(ニ) 研究調査

1. 昭和44年度、45年度継続のもの
 - ①『郷土地理の機械化についての研究』
白楳高 富永慶一(研究紀要第8号掲載)
 - ②『現代国語指導理念への考察』
室清水 入江澄夫(研究紀要第9号掲載予定)

2. 昭和45年度完了のもの

- ① 『中卒者の進路別における機械実習の内容とその実態の比較調査』
滝川工高 寺谷広安・影山利夫(8号掲載)
- ② 『学習指導要領(工業管理科)の解説書作成に関する調査研究』
北海道高 設楽和夫(研究紀要第8号掲載)
- ③ 『生物教材としてみた函館附近の両生類』
函館西高 白井馨(研究紀要第8号掲載)

3. 昭和45年度、46年度継続のもの

- ① 『コンブ栽培漁業に関する研究』
恵山高 阿部準三・小田貞雄(研究紀要第9号掲載予定)

<昭和46年度の申込受付について>

・申込方法

本年度の採用予定は4~5テーマで、申込みは教科関係のものは教科部会、教職関係のものは地区支部でとりまとめ、それぞれ部会長、支部長を経由して本部事務局へ9月18日(土)までに連絡する。

・研究調査の期間

研究調査の期間は1年または2年継続で、1年で完成のものは1万円、2年継続のものは各年度5千円の調査費が配当される。

・紀要発表

研究調査の報告は紀要に掲載するので、内容を400字詰原稿用紙20枚程度に要約し教科または支部を経て11月8日までに本部へ提出する。

5 昭和46年度予算案

(会員数)	5,213名
(会費)	300円
(補助金)	1,000,000円
<参加料-(300円×2,900名)>	
	870,000円>

6 年間行事予定表(別紙参照)

7 本部事務局構成(別紙参照)

8 昭和46年度会員登録及び名簿作成について

- ① 各学校毎の会員名簿は3部作成し、そのうち

2部は各地区支部事務局会費と共に送付されます。(1部は地区支部保管、1部は本部事務局へ)

- ② 地区支部事務局は地区支部内の教科部会毎の名簿を2部作成し、会費と共に本部事務局宛お送り下さい。(このうち1部は整理して教科部会にお渡しするものです)

従つて地区支部より本部事務局宛送付するものは、

- (1) 学校毎会員名簿 1部
- (2) 教科部会毎名簿 2部
- (3) 地区支部会員集計表 1部
- (4) 会費(北海道銀行札幌旭丘支店へ振込)

※名簿は7月17日までにお送り下さい。

9 地区支部、教科部会事務局校及び事務担当者一覧(別紙参照)

10 その他

- ① 10周年記念行事について

昭和45年度 会員登録数

<地区>

札幌 720	北空知 499	釧根 362
函館 483	旭川 494	十勝 314
後志 215	留萌 161	苫小牧 263
小樽 186	名寄 414	室蘭 212
南空知 468	北見 422	

<部会>

国語	539	英語	571
社会	670	家庭	244
数学	531	農業	404
理科	698	工業	385
保体	478	商業	469
芸術	134	水産	90

<合計 5,213>

<昭和46年度>

年 間 予 定 表

<北海道高等学校教育研究会>

月	日	曜	本 部	備 考	地 区 支 部	教 科 部 会
4	10	(土)	昭和45年度事業実績報告書提出			
	27	(火)	昭和46年度事業計画書提出 本部事務局会議			
5	6	(木)	昭和46年度会員加入登録依頼		役員改選	役員改選
	7	(金)	本部役員・地区支部長・教科部会長改選			
	19	(水)	本部事務局会議	第1回役員会議案書作成		
6	5	(土)	第1回役員会		第1回役員会 役員名簿提出期限	第1回役員会 役員名簿・部会 テーマ提出期限
	19	(土)				
7	3	(土)	会報第15号発行	内容：全体研究テーマ・部会研究 テーマ・紀要論文研究発表・研究 調査・事務局一覧・役員名簿一覧	“	
	17	(土)				
8	24	(火)	本部事務局会議	第2回役員会・事務担当者会議議 案書作成		
9	18	(土)	第2回役員会	事業計画・実行予算・会員加入に ついて・全体集会・教科別集会 第9回研究大会運営について：研 究発表・研究紀要・教科集會会場 ・日程表・部会講師	第2回役員会	第2回役員会
	“	“	教科部会事務担当者会議		事業計画書提出	事業計画書提出 事務担当者会議
11	6	(土)	研究紀要論文原稿締切	第9回研究大会講師・役員委嘱状 ・後援依頼状・公報掲載依頼状発 送・大会要項発送	研究紀要論文原 稿締切	教科別講師・係 ・役員委嘱状発 送
	8	(月)				研究紀要論文原稿締切
12	4	(土)	第9回研究大会参加申込締切 第9回研究大会運営会議		第9回研究大会 参加申込締切	
1	7	(金)	第9回研究大会全体集会 第9回研究大会教科別集会	1.14(金) 関係方面に第9回研究 大会の礼状発送	第9回研究大会 第9回研究大会	第9回研究大会
	8	(土)				第9回研究大会 第9回研究大会 ・礼状発送
2	19	(土)	第3回役員会	本部事務局会議(第3回役員会議 案書作成)	第3回役員会	第3回役員会
3	10	(金)	研究紀要第9号発刊・会報第16 号発行	会報内容：第9回研究大会報告		

高教研 { 地区支部 } 事務局所在地・事務担当者名簿一覧
教科部会

<地区支部>

地区支部	事務局校	住 所	(電 話)	(郵便番号)	事務担当者
札幌	札幌星園高校	札幌市南12条西7丁目	(51-4557)	060	村上元治
函館	函館西高校	函館市元町7番17号	(23-8416)	040	春日保造
後志	俱知安農業高校	虻田郡俱知安町旭15	(2-1149)	044	大橋健造
小樽	桜陽高校	小樽市長橋三丁目19番1号	(2-9408)	047	上田三三
南空知	栗山高校	夕張郡栗山町中央三丁目310番地	(2-1073)	069-15	深尾彰
北空知	芦別高校	芦別市本町51	(2-2164・2-2645)	075	在間弘
旭川	旭川西高校	旭川市5条4丁目	(22-0731)	070	木村卓爾
留萌	増毛高校	増毛郡増毛町暑寒沢村38	(3-1325)	077-02	高橋久志
名寄	名寄高校	名寄市西5条北5丁目	(3066)	096	秋山茂夫
北見	遠軽高校	紋別郡遠軽町南町1丁目	(2675)	099-64	十河巖
釧路	釧路工業高校	釧路市鶴ヶ岱3丁目5番の1	(41-1285)	085	吉田保綱
十勝	芽室高校	河西郡芽室町東三条四丁目	(2625)	082	赤塚一夫
苫小牧	苫小牧西高校	苫小牧市西町15番地	(2-3003)	053	三浦隆儀
室蘭	登別高校	幌別郡登別町字来馬169	(5-2912)	059-03	高橋俊雄

<教科部会>

教科部会	事務局校	住 所 (電 話)(郵便番号)	事務担当者
国 語	札幌開成高等学校	札幌市元町170番地 (781-8171) 065	上 西 和喜雄
社 会	札幌東高等学校	札幌市菊水東町3丁目 (811-0593) 062	村 上 恒 一 池 田 俊 二
数 学	札幌北高等学校	札幌市北25条西1丁目 (731-3191) 065	北 隅 嘉 長
理 科	札幌南高等学校	札幌市南18条西6丁目 (521-2316) (521-2314) 060	辺 見 竜 夫
保・体	恵庭南高等学校	千歳郡恵庭町桜町74番地 (2392) 061	狐 塚 英 隆
芸 術	札幌旭丘高等学校	札幌市伏見町1872番地 (561-1221) 060	滝 沢 光 郎
英 語	札幌西高等学校	札幌市琴似町宮の森800番地 (611-4401) 063	丹 治 幹 衛
家 庭	札幌西高等学校	札幌市琴似町宮の森800番地 (611-4401) 063	篠 田 ツ ネ
農 業	旭川農業高等学校	旭川市永山町239番地 (48-2887) (48-1320) 078	善 野 信 夫
工 業	札幌琴似工業高等学校	札幌市琴似発寒1020 (661-3251) 063	大 村 正 道
商 業	小樽商業高等学校	小樽市緑町3丁目4番1号 (2-0088) (3-9231) 047	境 富 夫
水 産	小樽水産高等学校	小樽市若竹町9番1号 (3-0670) (5-0063) 047	野 村 雅 夫

[昭和46年度—北海道高等学校教育研究会役員名簿]

- (会 長) 磯 貝 芳 司 (札幌旭丘)
- (副会長) 村 上 正 雄 (札幌南) 川 井 信 雄 (札幌月寒)
- 藤 田 保 彦 (札幌北)
- (監 事) 二階堂 文 雄 (旭商) 北 条 忠 (釧江南)
- 山 崎 英 哉 (札幌東商)
- (願 問) 梶 浦 善 次 (静修大) 長 瀬 米 蔵 (道女短大)

地区支部長

- (札幌) 大 塚 正 次 (札幌星園)
- (函館) 石 橋 莊 吉 (函西)
- (後志) 清 水 小 十 (倶農)
- (小樽) 長 尾 之 児 (樽桜陽)
- (南空知) 町 田 敬 治 (栗山)
- (北空知) 高 橋 菊 男 (芦別)
- (旭川) 大 野 義 輝 (旭西)
- (留萌) 鈴 木 新 造 (増毛)
- (名寄) 高 山 秀 丸 (名寄)
- (北見) 吉 本 昇 (遠軽)
- (釧根) 鈴 木 憲 一 (釧工)
- (十勝) 西 山 勝 (芽室)
- (苫小牧) 加 藤 重 雄 (苫西)
- (室蘭) 棚 橋 晃 (登別)

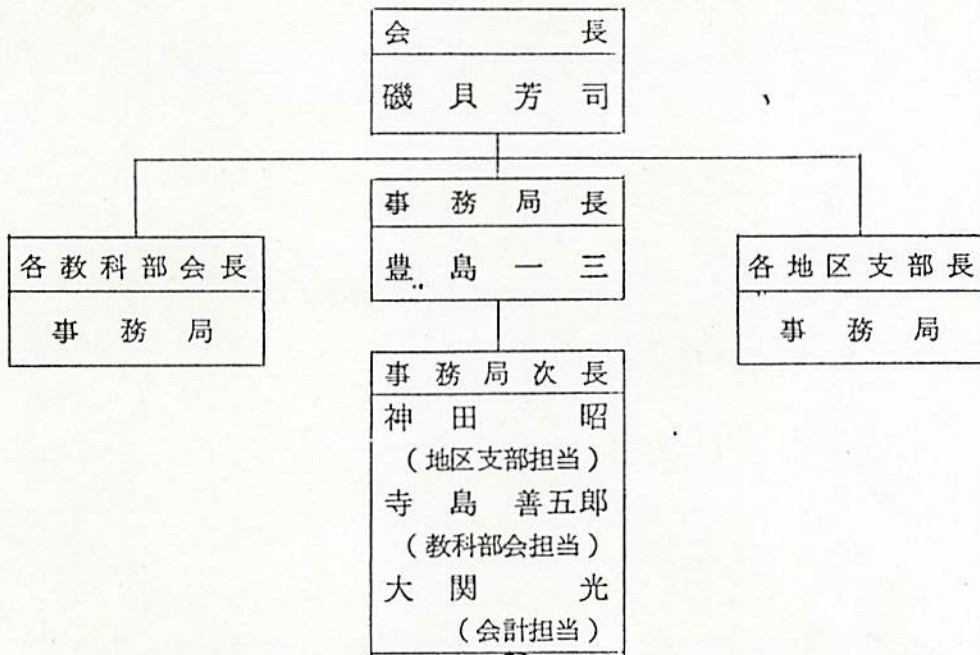
教科部会長

- (国 語) 笠 岡 正 次 (札幌開成)
- (社 会) 樋 浦 浩 (江別)
- (数 学) 斎 藤 国 夫 (札幌啓成)
- (理 科) 村 上 正 雄 (札幌南)
- (保・体) 木 村 隆 一 (恵庭南)
- (芸 術) 千 葉 正 信 (福島商)
- (英 語) 直 木 通 (札幌西)
- (家 庭) 直 木 通 (札幌西)
- (農 業) 福 井 敏 夫 (旭農)
- (工 業) 中 神 肇 (札幌琴工)
- (商 業) 友 田 義 潔 (樽商)
- (水 産) 斎 藤 一 郎 (樽水)

<昭和46年度>

北海道高等学校教育研究会

<事務局構成>



分担	庶務部	研究部	編集部	組織部	会計部
担当	○野元哲浩 高田裕幸 松井敢二 岩田享子 片桐令子 武藤英	○田村正郎 菅原道行 酒井皓 関谷清邦 西田裕 柴田雅美	○沢田正巳 細田康弘 綾井健二 松田五郎 稲田亮一 菅野敏彦	○桜井文雄 森田太郎 吉田功 尾崎弘樹 竹谷紀靖 山崎節子	○大関光 斎藤文明 山田渥子 小林雄一
業務	1. 諸文書作成・発送 2. 諸文書記録・整理・保管 3. 諸資料の整理・保管 4. 諸会議の準備	1. 教科部会・地区支部との連絡を強化、研究を促進する。 2. 研究発表、紀要、研究調査の集計・調整 3. 編集部との連絡	1. 会報・研究紀要の編集・印刷・発送・整理・保管 2. その他の出版物の編集・印刷 3. 研究部、組織部との連絡	1. 会員登録名簿の作成 2. 会員数統計(地区・教科・学校別) 3. 会計部との連絡	1. 予算書の作成 2. 金銭出納 3. 物品の購入・借入の業務

<注> ○印は各分担責任者

(編集後記)

時節柄会員の皆様方には御多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。さて、事務局機構が改組されて昨年度までの研究物係は編集部となりましたが、その本年度最初の仕事といたしましての「会報」15号発行の運びと相成り、会員各位のお手元に配付出来ることを嬉しく存じます。なお、発行にあたり教科及び支部責任者の方々に資料提供などでいろいろと御協力をいただきましたことを深謝申し上げます。

(編集部 - 沢田)